



藍原 章 議員

安心で安全な子育て環境の整備について

問 0歳児の見守り訪問事業はどのように進めるのか

答 子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠中から子育て期にわたる切れ目のない支援が行える体制を整えています

問 0歳児の見守り訪問事業の展開についてはどうか。

答 健康福祉部長

子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠中から子育て期にわたる切れ目のない支援が行える体制を整えています。生後一か月以内の新生児のご家庭には、保健師や助産師が訪問し、乳児健診や、離乳食教室等でも、保健師、助産師、看護師、管理栄養士等の専門職が月齢に応じて相談支援を行うなど、乳児の見守りをはじめ、子育てに関する相談支援を行っています。

問 産後の育児支援についてはどうか。

答 子ども未来部長

保健師が妊娠期から産後に寄り添う伴走型相談支援を行っています。また状況によっては、託児・保育園の送迎などを行うファミリーサポート・センター事業や家事援助のNPO団体を紹介しています。

問 ヤングケアラー等への支援推進についてはどうか。

答 子ども未来部長

今後は、ヤングケアラーに

問 奨学金の代理返還についてはどうか。

答 教育総務部長

奨学金返還者と企業の双方にメリットがある制度であると認識しています。現在市では保育士・介護職員の人材確保を目的とした、奨学金返還支援助成の制度を設けていますが、教育委員会としても、未来を担う若者のため、市の育英資金にかかる奨学金代理返還制度について調査研究していきたいと考えています。

※ピアサポート

同じような立場や境遇、経験等を共にする人同士が支え合う活動

その他の質問

- 支え合い助け合う地域社会の構築について
- グリーンライフ・ポイント制度の導入について

関する相談はもとより、ケアラーにならないための予防対応を含め、子ども・若者や家庭に関するあらゆる相談をお受けする総合支援拠点の設置を進めていきます。市民の皆様が相談しやすく、分かりやすい組織・体制となるように検討を重ねていきます。また、県内2か所でピアサポートを行う民間団体と連携しながら、介護保険制度や障害福祉サービス、ファミリーサポート・センター事業等を活用して、ケアラー支援を行っていきます。